





Special Feature

車検・整備、車販売
への取り組み

しょうげき～衝撃～

Show Get-key

オートバックスセブン

株主通信

Vol. **18**

第60期 第3四半期 事業報告書 2006年10月1日から2006年12月31日まで

「車好きのユートピアをつくる」 「世界中のドライバーを車好きに変える」

二つの大義を実現するため、私たちオートバックスグループは、
カーライフスタイルの創造者として行動します。

オートバックスグループ創業の原点、それは「お客さまに車の楽しさをもっと伝えたい、お客さまのカーライフをもっと豊かにしたい」という熱い思いです。オートバックスブランド誕生から30年以上が経過し、グループ500店舗を超える業界のリーディングカンパニーへと成長した現在でも、この気持ちは決して変わりません。

車はただの乗り物ではなく、私たちの人生を豊かに変え、生活を楽しんでくれるパートナーであるということを感じ

たい。車が秘めている楽しさをできるだけ多くの方と分かち合い、世界中の人に車を好きになってもらいたい。そして車のある生活をもっともっと楽しんでワクワクしてほしいのです。

私たちはこれからも、人と車が調和した社会とより充実したカーライフを提案し続けることで、お客さまと車の楽しさや走る喜びを共有するとともに、お客さまの満足とオートバックスグループの成長のために挑戦を続けます。

目次

1... CEO Message

ごあいさつ

2... Special Feature

車検・整備、車販売への取り組み



4... Report

キッズニア東京にパピリオンを出展

6... Topics

トピックス

オートバックス ドットコムがリニューアルオープン

8... Financial Section

財務報告

12... Investor Information

株式情報

13... Corporate Data

会社情報

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載してある戦略や今後の事業展開など歴史的事実に基づいていない部分は、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、実際はさまざまなリスク要因の変化により異なる結果となることがあります。

個人情報保護方針

株式会社オートバックスセブンでは、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報を適切に保護するため、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報を適切かつ安全に取り扱います。

CEO Message ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。オートバックスセブン株主通信「Show Get-Key」Vol.18をお届けします。今号では、第60期第3四半期の業績報告とともに、中期経営計画上の事業の柱として位置づけた「車検・整備」「車販売」の進行状況など、企業価値の最大化に取り組む当社の事業活動をご報告します。

また、「車好きのユートピアをつくる」「世界中のドライバーを車好きに変える」という当社の大義に沿った取り組みの一環として、こどものためのお仕事タウン「キッズニア東京 (Kidzania Tokyo)」に出展したパビリオン、オートバックス「カーライフサポートセンター」をご紹介します。

■当第3四半期の業績報告

当第3四半期の連結売上高は、前年のような降雪による特別な需要はありませんでしたが、新規出店や既存店舗の業態変更に加え、フランスの店舗数増加などがあり、前年同期比30億29百万円増の1,961億78百万円となりました。売上総利益は売上

高の増加やカテゴリーマネジメント導入による売上原価の低減により、同8億90百万円増の588億54百万円となりました。

営業利益は車販売をはじめとした将来に向けた事業に対する戦略的な経費が増加し、前年同期比10億62百万円減の122億41百万円となり、経常利益は受取配当金や為替差益など営業外収益の増加はありましたが、同2億57百万円減の159億11百万円となりました。純利益は不採算事業の再構築にかかる特別損失が減少したことや法人税等調整額の変動により、同3億3百万円増の86億32百万円となりました。

■中期経営計画2年目も順調にスタート

「新たな発展ステージへ」を経営方針に掲げた2007年3月期は、いよいよ最終四半期に突入しています。中期経営計画の2カ年目である当期は、「トータルカーライフ事業戦略」「エリアドミナント戦略」「海外事業戦略」に基づく施策を実施中です。なかでも今後の成長分野として位置づける「車販売」「車検・整備」は厳しい競争



環境の中での取り組みではありますが、売上金額・台数ともに継続的に増加しています。当グループは、今後も中期経営計画の遂行とトータルカーライフサービス業への転換を目指し、企業価値の最大化に努めてまいります。株主の皆さまには、当グループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年2月

住野 公一

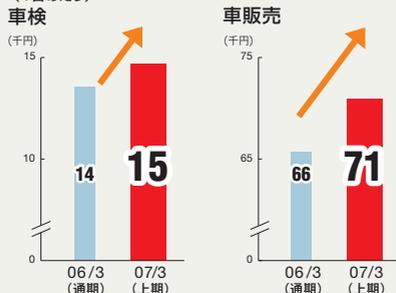
代表取締役 CEO

車検・整備、車販売への取り組み

さらなる成長へ向けてグループ一丸となって取り組んでいる中期経営計画では、カーライフのすべてのステージでワンストップサービスを提供するトータルカーライフサービス業への転換を推し進めています。

本特集では、トータルカーライフサービス業の成長分野となる「車検・整備」「車販売」の現況と、「カー用品販売」への相乗効果をご報告します。

車検、車販売時のカー用品売上高
(1台あたり)



車検・整備



「車検・整備」には専門的な技術や知識が必要です。オートバックスグループの全国約500店舗中420店舗にて自動車の分解・整備ができる「認証工場」資格を取得しており、うち227店舗は国に代わって車検の検査業務を行える「指定認証工場」資格を取得しています。

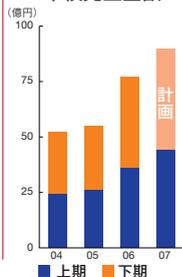
また、短時間車検や豊富な追加整備メニューを備えた車検のどちらも選ぶことができる「早・技車検」や板金塗装サービス「早・技板金」をはじめ、お客さまのさまざまなニーズに合わせた対応が可能な店舗を増やすことにより、きめ細やかなサービスを提供できる体制を整えています。

オートバックスの車検は、自動車

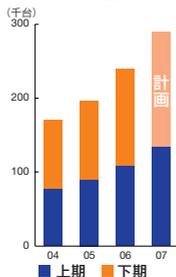
メーカー、車種にとらわれないだけでなく、車検・整備の作業内容についてお客さまと相談して料金を明朗に決定する見積りシステムや、安心・親切・丁寧な対応などが好評を得ています。

さらに車検・整備、板金加工の専門施設「テクノキューブ」の本格的な拡充やテレビCMなどの宣伝効果により、車検台数は着実に伸張しています。当中間期末の車検実施台数は、前年同期比24.0%増加の13万4,000台、売上高は同22.0%増の44億3百万円に拡大しており、通期計画では車検実施台数29万台、売上高90億円を見込んでいます。

車検売上金額



車検売上台数



「カー用品販売」への相乗効果

相乗効果創造のイメージ



※ () 内の台数は、2005年3月期実績

「車検・整備」「車販売」を強化する狙いは、今までオートバックスの店舗をご利用されなかったお客さまが店舗をご利用されるきっかけを提供し、「車検・整備」「車販売」の販売時にカー用品を同時にお買い上げいただくという相乗効果を狙っており、その効果も徐々に拡大しています。

近年、国内カー用品市場はカー用品のアフターマーケットで人気となった商品が新車販売時に標準装備されるケースが増えていることに加え、全般的に商品単価が下落

していることにより、伸び悩む傾向にあります。このような環境下において、カー用品の総合的な市場シェアの拡大を実現する「車検・整備」「車販売」は、トータルカーライフ事業戦略の大きな柱であり、オートバックスグループの今後の成長を牽引する重要な事業分野です。今後もオートバックスグループでは、「カー用品販売」「車検・整備」「車販売」それぞれ規模の拡大と相乗効果の追求を目指してまいります。

車販売



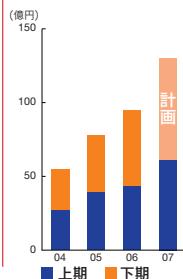
トータルカーライフサービス業を目指すオートバックスグループにとって、車の販売・買取は、お客さまのカーライフの入口と出口に携わる重要な事業です。「車販売」の重点施策として、車販売取扱店舗の拡大、販売パッケージの整備、従業員の販売・買取スキルの向上などに取り組んでいます。また、中古車・新車リース、アウトレットカープランの導入による支払いの手段や商品ラインナップの拡充に加え、テレビCMも積極的に展開し、車販売・買取の認知度向上に努めてきました。

これらの結果、中期経営計画のスタート直前期には、全国約500店舗中210店舗だった車販売取扱店舗

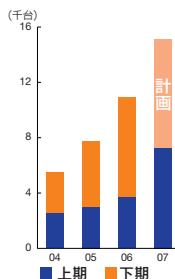
数が、当中間期末では321店舗まで拡大しました。同じく販売台数は、前年同期比51%の大幅増加となる7,277台まで拡大し、通期計画では1万5,000台以上を見込んでいます。さらに売上高は、前年同期比42%増の60億81百万円に達し、通期計画では130億円を見込んでいます。

オートバックスグループでは今後さらに車販売・買取ビジネスへの取り組みを強化し、カー用品販売に次ぐ事業の柱に成長させてまいります。

車販売売上金額



車販売売上台数





車に触れる
楽しさを
子どもたちに
知って欲しい



曾我部 亮子

販売促進部 営業企画グループ

オートバックスグループは、「車好きのユートピアをつくる」「世界中のドライバーを車好きに変える」という大義と、「車の楽しさをもっと伝えたい、お客さまのカーライフをもっと豊かにしたい」という熱い思いを胸に、人と車が調和した社会と、より充実したカーライフスタイルの創造者として、さまざまな挑戦を続けてきました。

その新たな挑戦のひとつとなるキッズニア東京への出展は、車に触れる楽しさを子どもたちに知ってもらうとともに、交通ルールに関する理解の促進と、今後の安全な車社会の構築に寄与することを目的としています。こうした取り組みを通して、未来の日本を支える子どもたちには、将来の夢を持ってもらいたいと考えています。

キッズニア東京に パビリオンを出展

オートバックスセブンは、2006年10月にオープンした、日本初の子どもが主役の街「キッズニア東京」にオートバックス「カーライフサポートセンター」パビリオンを出展しました。

「キッズニア (Kidzania)」とは？

キッズニアは、パビリオンと呼ばれるお店や工場が集まる仮想の街で、子どもたちが楽しみながら職業や社会の仕組みを学ぶことができるテーマパークです。子どもたちは、パビリオンでいろいろな仕事をするにより、「キッツ」と呼ばれるキッズニアの専用通貨で給与をもらうことができるとともに、仕事をして手に入れたキッツを、各パビリオンで買い物や習い事に使うことができます。

この度オープンしたキッズニア東京には、オートバックス カーライフサポートセンターのほか、ラジオ局、お菓子工場、ビューティーサロン、消防署など、約50のパビリオンがあります。キッズニア東京は、子どもたちが好きな職業を選んで体験することができる日本初の“エデュテインメントタウン※”です。

※エデュケーション(学び)とエンターテインメント(楽しさ)を組み合わせた造語です。



キッズニアの専用通貨「キッツ」



車エリアの中央に位置するカーライフサポートセンター



オートバックス 「カーライフサポートセンター」

オートバックスのパビリオン「カーライフサポートセンター」は、当社が取り組んでいるトータルカーライフサービス（カー用品販売、車検・整備、車販売）の中の「整備」をテーマとし、当グループ店舗に設置されているピットでのタイヤ交換や車両点検・整備などを体験できるようになっています。

こどもたちにこれらの体験をしてもらうことにより、「どんな道具を使ってタイヤを取り付けるの?」「バッテリーってどんな働きをするの?」など、こどもたちの車に対する「どうして?」の解決を目指します。さらに普段乗り慣れている車がどの様な仕組みになっているのかを知ることにより、こどもたちに車の楽しさを実感して欲しいと考えています。

キッズ体験レポート

オートバックス「カーライフサポートセンター」

オートバックスセブン・キッズレポーターのかづきちゃん(上写真・左)とあおいちゃん(上写真・右)がカーライフサポートセンターで自動車整備士に挑戦します！上手にできるかな？



自動車整備士のお仕事カード

ドキドキ



まずはオートバックスのユニフォームに着替えてお仕事スタート。

できるかなあ？



スーパーバイザーのお兄さんの指導を受けながら、古いタイヤを新しいタイヤに交換。

しっかりとめてね！



新しいタイヤをセットし、十字レンチでホイールナットを締め付け。

ライトOK！お仕事OK！



タイヤ装着後、ライト、バッテリー、ミラーなどを点検。異常がなければお仕事は終了。

楽しかったね！



お仕事を終えたキッズにはお給料(8キッ)と自動車整備士のお仕事カードを支給。

がんばったよ！



実際に車に触れ、自動車整備を体験して楽しかったという2人。車が大好きになったかな？！

キッズニア東京の概要

所在地： 東京都江東区豊洲2丁目4番9号
アーバンドックらぽーと豊洲3階
敷地面積： 約1,800坪
施設収容人数： 年間80万人
対象年齢： 2歳～15歳
URL： www.kidzania.jp

オートバックス「カーライフサポートセンター」の概要

面積： 5.2坪(17.21㎡)
体験内容： タイヤ交換、バッテリー交換、エンジンの調整

オートバックスの公式サイト www.autobacs.com

オートバックス ドットコムが

リニューアルオープン

オンライン・ショッピングから 登録情報の変更まで

この度のウェブサイトのリニューアルは、ポイントアップカードの会員制度を変更したことにともなうものです。お客さまがネット購入した際に店舗でも商品の受取・決済ができる「ショッピング」ページ、購入履歴やポイントの確認のほか、ポイントアップカードの会員制度と合わせて、登録情報の確認・変更ができる「会員情報（マイページ）」など、さまざまな機能の追加・拡充を行なっています。

メルマガ登録

メールアドレスを入力するだけで、オートバックス ドットコムの無料メールマガジン「オートバックス通信」の配信のお申し込みができます。ウェブサイト掲載のセール、キャンペーン情報などの最新情報がいち早く入手できます。

オートバックスセブンでは、すべてのお客さまのトータルカーライフをサポートする公式サイト「オートバックス ドットコム」を2006年11月にリニューアルしました。

1. ショッピング

2. 店舗情報

3. クルマの知識

4. 会員情報「マイページ」



新しくなったウェブサイトの概要

1. ショッピング



各種新製品や人気商品などオートバックスグループが取り扱う豊富な商品の中からおよそ1万アイテムを販売しています。

2. 店舗情報



全国のオートバックスグループ店舗を簡単に探し出せる検索機能や店舗のセール・イベント情報などを提供しています。

3. クルマの知識



クルマに関連する基礎知識、カー用品の取付ノウハウやクルマのメンテナンス方法などを16の商品分類毎に掲載しています。

4. 会員情報「マイページ」



オートバックスグループ会員専用ページです。ポイント・購買履歴の確認、登録情報の確認・変更が可能です。

www.autobacs.com

オートバックス

検索



▼ニュースリリース

10月

- 「カーライフアドバイザー」に関するテレビCMオンエア開始
- 株式会社イー・エム・シーが株式会社ベーシックオートより店舗営業譲渡
- こどものためのお仕事タウン「キッズニア東京」内にカーライフサポートセンターを出展
- 「オートバックスNEE土山店」を移転新築オープン(兵庫県)
- 「オートバックスわかやま北店」を移転新築オープン(和歌山県)
- 「スーパーオートバックス高知御座」を移転新築オープン(高知県)
- 「スーパーオートバックス仙台東加茂」を移転新築オープン(宮城県)

11月

- 「オートバックスコスモタウン佐伯」を新規オープン(大分県)
- 「オートバックス佐野」を新規オープン(栃木県)
- 2006冬商戦「地デジ・ナビ拡販企画「地デジ・ナビフェアもらっちゃおうワクドキWキャンペーン」実施
- 「オートバックス海老名」を移転新築オープン(神奈川県)
- 「オートバックス海老名テクノキューブ」を開設(神奈川県)
- 「スーパーオートバックス八木店」を移転新築オープン(奈良県)

12月

- 「ITOKYO AUTO SALON with NAPAC」に出展
- オリジナルブランドの「mono CRAFT」シリーズに4種類のカスタムカーを新発売

ニュースリリースの詳細は、当社の企業紹介ウェブサイトで閲覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/>

財務報告 *Financial Section*

連結貸借対照表

単位：百万円

第59期 第3四半期
(2005年12月31日現在)

第60期 第3四半期
(2006年12月31日現在)

第59期
(2006年3月31日現在)

(資産の部)			
流動資産	136,603	141,675	112,020
現金及び預金	37,486	31,126	34,256
受取手形及び売掛金	23,314	34,947	12,914
有価証券	29,591	26,062	28,682
たな卸資産	19,459	23,468	17,015
繰延税金資産	2,116	2,299	2,794
未収入金	22,340	20,919	14,285
その他	2,949	3,238	2,589
貸倒引当金	△654	△387	△520
固定資産	107,177	120,459	115,687
有形固定資産	48,860	50,907	49,794
建物及び構築物	22,115	21,623	21,613
土地	20,932	22,421	22,330
その他	5,812	6,861	5,849
無形固定資産	4,998	12,838	10,899
投資その他の資産	53,318	56,713	54,993
投資有価証券	24,631	28,785	26,513
長期貸付金及び長期差入保証金	25,104	23,431	24,575
繰延税金資産	4,897	3,005	4,034
その他	1,492	3,020	1,529
貸倒引当金	△2,807	△1,530	△1,659
資産合計	243,781	262,134	227,707
(負債の部)			
流動負債	55,953	70,821	44,046
支払手形及び買掛金	25,762	47,002	16,094
短期借入金	5,145	1,845	4,768
未払金	15,138	12,935	11,436
未払法人税等	4,992	3,357	4,800
役員賞与引当金	—	113	—
その他	4,915	5,566	6,946
固定負債	22,983	23,718	21,655
転換社債型新株予約権付社債	1,775	270	270
長期借入金	11,343	14,044	11,407
退職給付引当金	374	89	275
役員退職給与引当金	421	394	404
事業再構築引当金	874	585	860
その他	8,193	8,334	8,437
負債合計	78,937	94,540	65,701

単位：百万円

	第59期 第3四半期 (2005年12月31日現在)	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第59期 (2006年3月31日現在)
(純資産の部)			
株主資本	—	165,521	—
資本金	—	33,998	—
資本剰余金	—	34,512	—
利益剰余金	—	102,542	—
自己株式	—	△5,532	—
評価・換算差額等	—	1,673	—
その他有価証券評価差額金	—	1,734	—
為替換算調整勘定	—	△61	—
少数株主持分	—	400	—
純資産合計	—	167,594	—
負債及び純資産合計	—	262,134	—
(少数株主持分)			
少数株主持分	518	—	469
(資本の部)			
資本金	33,247	—	33,998
資本剰余金	33,763	—	34,512
利益剰余金	96,583	—	96,113
その他有価証券評価差額金	1,011	—	744
為替換算調整勘定	△243	—	△221
自己株式	△35	—	△3,610
資本合計	164,325	—	161,535
負債、少数株主持分及び資本合計	243,781	—	227,707

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

単位：百万円

	第59期 第3四半期 (自 2005年 4月 1日 至 2005年12月31日)	第60期 第3四半期 (自 2006年 4月 1日 至 2006年12月31日)	第59期 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日)
売上高	193,149	196,178	240,207
売上原価	135,185	137,323	166,257
販売費及び一般管理費	44,660	46,613	60,312
営業利益	13,303	12,241	13,637
営業外収益	4,407	5,013	5,252
営業外費用	1,542	1,343	1,967
経常利益	16,168	15,911	16,922
特別利益	143	449	774
特別損失	2,029	717	3,831
税金等調整前四半期(当期)純利益	14,283	15,644	13,865
法人税、住民税及び事業税	6,743	6,275	6,454
法人税等調整額	△822	861	△447
少数株主利益(△)・損失	△32	126	1
四半期(当期)純利益	8,329	8,632	7,860

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	第59期 第3四半期 (自 2005年 4月 1日 至 2005年12月31日)	第60期 第3四半期 (自 2006年 4月 1日 至 2006年12月31日)	第59期 (自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,648	8,245	24,136
税金等調整前四半期(当期)純利益	14,283	15,644	13,865
減価償却費	3,542	3,621	4,935
減損損失	—	362	1,151
売上債権の増減額(増加:△)	△18,502	△28,538	△22
たな卸資産の増減額(増加:△)	△2,094	△6,058	10
その他	19,093	30,386	6,999
小計	16,321	15,417	26,940
利息及び配当金の受取額	189	619	288
利息の支払額	△40	△131	△67
法人税等の支払額	△2,821	△7,659	△3,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,361	△5,763	△26,996
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,221	△8,476	△11,400
有価証券及び投資有価証券の取得・売却	△14,573	3,686	△16,988
その他	1,434	△972	1,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,357	△4,244	5,177
短期借入金の増減額(減少:△)	△34	△2,007	△299
長期借入による収入	12,500	3,000	13,000
長期借入金の返済による支出	△1,291	△1,287	△1,848
自己株式取得による支出	△331	△1,931	△3,909
配当金の支払額	△1,773	△2,075	△1,774
その他	288	58	9
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	167	102
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	6,713	△1,594	2,420
現金及び現金同等物の期首残高	51,150	53,622	51,150
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	51	—	51
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	57,915	52,028	53,622

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 42,974百万円

2. 1株当たり四半期(当期)純利益 224円89銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業態別店舗数

	第59期 第3四半期 (2005年12月31日現在)	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第59期 (2006年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	62	70	65
Type I	6	6	6
Type II	56	64	59
オートバックス	408	401	403
オートハローズ	14	11	11
オートバックス走り屋天国セコハン市場	29	28	28
オートバックスエクスプレス	5	6	6
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	13	20	19
合計	531	536	532

要約個別貸借対照表

単位:百万円

	第59期 第3四半期 (2005年12月31日現在)	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第59期 (2006年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	129,237	136,445	104,176
固定資産	117,991	127,580	121,086
有形固定資産	40,362	41,566	41,461
無形固定資産	4,139	6,681	4,857
投資その他の資産	73,488	79,333	74,766
資産合計	247,229	264,026	225,262
(負債の部)			
流動負債	60,108	72,750	42,194
固定負債	22,621	23,399	21,236
負債合計	82,729	96,149	63,431
(純資産の部)			
資本金	—	33,998	—
資本剰余金	—	34,512	—
利益剰余金	—	103,148	—
自己株式	—	△5,509	—
評価・換算差額等	—	1,726	—
純資産合計	—	167,876	—
負債及び純資産合計	—	264,026	—
(資本の部)			
資本金	33,247	—	33,998
資本剰余金	33,763	—	34,512
利益剰余金	96,486	—	96,175
その他有価証券評価差額金	1,006	—	722
自己株式	△3	—	△3,578
資本合計	164,499	—	161,831
負債及び資本合計	247,229	—	225,262

要約個別損益計算書

単位:百万円

	第59期 第3四半期 (自2005年4月1日 至2005年12月31日)	第60期 第3四半期 (自2006年4月1日 至2006年12月31日)	第59期 (自2005年4月1日 至2006年3月31日)
売上高	166,831	169,793	203,056
売上原価	132,610	135,731	160,343
販売費及び一般管理費	21,248	21,059	29,075
営業利益	12,972	13,002	13,637
営業外収益	2,593	3,807	3,530
営業外費用	1,078	1,037	1,475
経常利益	14,486	15,772	15,692
特別利益	196	636	873
特別損失	2,421	488	4,761
税引前四半期(当期)純利益	12,262	15,920	11,805
法人税、住民税及び事業税	5,491	5,630	5,200
法人税等調整額	△505	1,113	△360
四半期(当期)純利益	7,276	9,176	6,965
前期繰越利益	2,854	—	2,854
中間配当額	922	—	922
四半期(当期)未処分利益	9,208	—	8,897

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 32,205百万円

2. 1株当たり四半期(当期)純利益 239円02銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

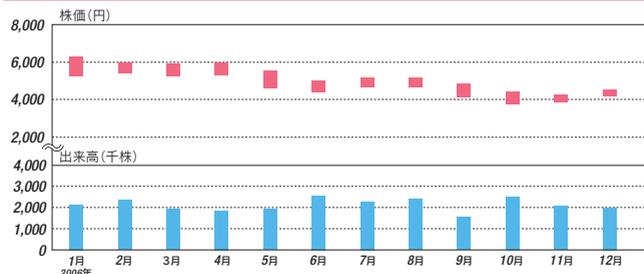
株 式 情 報 *Investor Information*

(2006年12月31日現在)

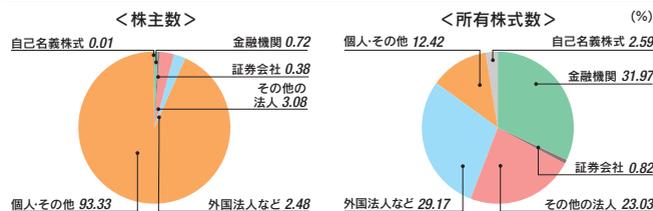
発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	39,255,175株
株主数	10,316名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所、 ロンドン証券取引所
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)
名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー-505019 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 住野正男 資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口) 住友信託銀行株式会社 (信託B口)

- 注) 1. 当社は自己株式1,017千株(所有割合2.59%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2006年9月30日現在)。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。
3. 株主数、大株主一覧、所有者別状況については、2006年9月30日現在のデータです。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2006年9月30日現在)



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行㈱の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上の株主の皆さまにお送りしています。

ご参考

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 優待券25枚
1,000株~ 優待券50枚
- 優待券は商品券・他の値引(買い物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- 優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレスおよびオートハローズの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックス・コース、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券は燃料、車両、保険、税金、飲食、タバコ、特価商品などにはご利用いただけません。
※車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

会社情報 Corporate Data

(2006年12月31日現在)

商号

株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して全国にチェーン展開しております。

役員一覧

取締役・監査役

代表取締役

住野 公一^{※1} CEO

取締役

湧田 節夫

経森 康弘

松尾 隆^{※1} CSO

経営戦略推進統括

中田 康雄^{※2} (カルビー(株) 代表取締役社長 兼 CEO、CIO)

宮内 英樹^{※2}

森本 弘徳^{※1} Co-COO

エリアドミナント戦略推進統括 兼 店舗開発担当 兼 業態開発事業担当

武田 健一^{※1} Co-COO

トータルカーライフ事業戦略推進統括 兼 海外事業戦略推進統括 兼 カー用品事業担当

監査役

森野 孝太郎^{※3} 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

野上 明 常勤監査役

田邊 健介^{※3} 監査役(東海労働金庫 常勤監事)

主要な事業所

本社	(東京都江東区)	欧米事業部	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(仙台市泉区)	アジア事業部	(東京都江東区)
北関東エリア事業部	(千葉県市川市)	中国事業部	(東京都江東区)
南関東エリア事業部	(千葉県市川市)		
中部エリア事業部	(名古屋市名東区)		
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)		
南日本エリア事業部	(福岡市博多区)		

オフィサー (取締役兼務を除く)

伊藤 浩明	北日本エリア事業部長
小林喜夫巳	北関東エリア事業部長
角倉 正親	南関東エリア事業部長
戸出 讓	中部エリア事業部長
松村 晃行	関西エリア事業部長
江本 吉弘	南日本エリア事業部長
森本 眞臣	U-PARTS事業担当 兼 販売促進担当 兼 U-PARTS開発部長 兼 カスタムカー開発部長 兼 販売促進部長
釜田 尚文	車検整備事業担当
榎 宏介	C@RS事業担当 兼 C@RS事業推進部長
深山 義郎	新規事業担当
住野 耕三	海外事業戦略推進担当 兼 アジア事業部長 兼 中国事業部長
小平 智志	経営戦略推進担当 兼 新規事業開発担当

※1 オフィサー兼務

※2 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※3 会社法第2条第16号に定める社外監査役



車検って
どこで受けたら
安心なの？

買い替えは
あちこち
見て回るのが
面倒だし...

クルマのこと、 オートバックスにきいてみよう

オートバックスはトータルカーライフサポート。クルマのことなら選べる、はなせる、オートバックスへ。

安心 車検

車検のこと、オートバックスにどんどんお聞きください。
オートバックスならではの安心・納得でお応えします。

オートバックスならではの安心ポイント

信頼の技術

大切なお車だから豊富な経験と技術力を持つ
国家資格所有の整備士が丁寧にメンテナンス!

納得の正直価格

無料見積り実施中!
価格もとことんご説明!

選べるパーツ

交換部品が豊富だから、
希望に合わせて選べます!

さらに 整備箇所は6ヶ月または
1万kmの整備保証付
※整備箇所に限ります。

悩んでないで
きいてみようよ!



オートバックスイメージキャラクター 相武 紗季

オートバックスカーズ 中古車 新車 購入

お車のご購入、買い替えでお悩みの方もご相談ください。
スピーディーでお得に新しいカーライフ、始められます。

全国の中古車情報を
瞬時に検索

カー用品
5%割引
納車までにお取付

新車購入も
全メーカー
OK

1年間 or 2年間 安心プラス保証も選べます
国産車 or 輸入車

欲しいクルマに半額で乗れる。
新車半額革命!!
ローン終了後、購入時に設定した「買取保証額」での
買取をお楽しみいただけます。*お車を売却していただく必要があります。

愛車無料査定実施中!

※車販売の取り扱いのない
店舗もございます。

お出かけ先で
オートバックスグループ
車検
100万台突破!!
サービスキャンペーン

車検で「プラス3日」などが当たる
「プレゼントキャンペーン」実施中!

2007年3月31日(土)まで

はじめての、カーライフ、はじめよう

もっと詳しくはパソコンから...

<http://www.autobacs.com/>

お客様相談室 ☎ 0120-454-771
(平日9:00~12:00/13:00~17:30 土・日・祝日を除く)

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社 オートバックスセブン 東京都江東区豊洲5-6-52 1STビル 〒135-8717



大豆インクを使用し、古紙配合率100%の再生紙に、水なし印刷をしています。

● IR情報に関するお問い合わせ

経営企画部 電話：03-6219-8718 e-mail: investors@autobacs.com

お問い合わせ先

● 住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ

住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)

※詳細は、12をご確認下さい